

2019年7月		
筆者	所属	千葉県農林総合研究センター 東総野菜研究室
	職名及び氏名	研究員 千吉良 敦史
題名	晩冬どりダイコンの優良品種	

千葉県におけるダイコンの産出額は147億円で全国1位（平成29年）となっています。銚子地域において、晩冬どりダイコンの露地栽培では、年により寒害を受けて収量及び上物率が大きく低下することがあります。そこで、この作型で低温障害の発生が少なく、収量の安定した優良品種を選定するため、農林総合研究センターで第69回全日本野菜品種審査会が開催されましたので、結果を紹介します。

審査会には32品種が出品され、栽培は東総野菜研究室（旭市）の黒ボク土露地ほ場で行いました。肥料は、平成29年9月21日に化成肥料で窒素、リン酸、加里をそれぞれ分量で10a当たり8kg施用しました。畝幅60cm、株間20cm（8,333株/10a）で、9月25日に播種し、2月8日に審査を行いました。栽培中、10月22～23日の台風21号による潮風害と12月以降の低温により、全ての品種で生育が大幅に遅れました。

審査の結果、形状と肥大性に優れる上位6品種が入賞しました(表)。1等特の「SC3-295」（商品名「冬馬力」）は青首部が少なく、揃いと形状が優れました。2等の「No.4856」は揃いが良く、肥大性が最も優れました。「SC3-643」（商品名「春の守」）は先詰まりが良く、揃いと形状が優れました。「NR-522」は葉が旺盛で形状が優れましたが、内部の着色が目立ちました。

以上のように、今回は肥大性の良い品種が入賞する傾向がありましたが、気温が高く生育が旺盛な年には根部の割れなどが散発する可能性もあります。障害発生リスクを分散するためには、各品種の特性を考慮し、複数の品種を組み合わせた栽培が必要となります。

表 入賞品種の審査得点、生育及び規格別本数割合

順位	品種名	種苗会社	審査得点			葉重 (g/株)	根長 (cm)	根径 (cm)	根重 (g/株)	規格別本数割合(%)		
			立毛	収穫物	合計					M	S	小
1等特	SC3-295	(株)サカタのタネ	76	262	338	66	31	6.4	680	4	21	75
2等	No.4856	タキイ種苗(株)	85	246	331	88	31	6.4	705	13	4	83
2等	SC3-643	(株)サカタのタネ	76	251	326	71	28	6.0	593	0	0	100
2等	NR-522	ナント種苗(株)	81	241	322	123	32	6.3	698	17	17	67
3等	KAD-226	カネコ種苗(株)	83	234	317	113	31	6.3	689	17	13	71
3等	SC4-287	(株)サカタのタネ	74	243	316	58	28	6.5	647	0	8	92

注1) 各区12株×2反復を調査

2) 審査得点は、20名の審査員により立毛100点、収穫物300点の400点満点で評価

3) 規格は小：根重800g未満、S：800～900g、M：900～1,100g